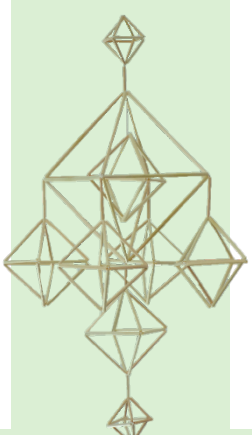


# Disclosure 2023



(令和5年度上半期)

## CONTENTS

ごあいさつ	1
JA兵庫南の概要	1
1. 経営理念	2
2. 経営方針	3
3. 事業活動トピックス	5
4. 農業振興活動	8
5. 地域貢献情報	9
6. 事業の概況（令和5年度上半期）	11
（1）事業実績の推移	12
（2）有価証券の時価情報	15
（3）金銭の信託の時価情報	15
（4）預かり資産の状況	15
（5）自己資本比率（単体）	15
7. 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示 債権区分に基づく債権の保全状況	16

# ごあいさつ

『「安心」「笑顔」の種を蒔き、  
未来へ「つながる」実をつくろう』

組合員の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

J A兵庫南は、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当J Aに対するご理解を一層深めていただくために、当J Aの主な事業の内容や組織概要、経営の内容などについて、利用者の皆様にわかりやすくまとめた「ディスクロージャー誌 2023 年度（上半期）」を作成いたしました。

当J Aの事業をさらにご利用いただくための一助として、皆様に是非ご一読いただきますようお願い申し上げます。

組合員の皆様のますますのご繁栄を祈念申し上げ、ごあいさつといたします。

令和5年12月

兵庫南農業協同組合  
代表理事組合長 中村 良祐

## ● J A兵庫南の概要 ●

名称：	兵庫南農業協同組合	
代表理事組合長：	中村 良祐	
設立：	平成11年4月	
本店所在地：	兵庫県加古川市加古川町寺家町621番地	
支店等：	支店	15支店
	事業所	26か所
役員数：	34人	
職員数：	正職員	418人
	臨時・嘱託	217人
	パート	114人
	合計	749人
組合員数：	正組合員	14,047人
	准組合員	50,083人
	合計	64,130人
出資金：	3,691百万円	
総資産：	729,060百万円	

上記の数値は令和5年9月末現在です。

# 1. 経営理念

---

## 1. 経営理念

『組合員と共に繁栄し、安心・安全・安定を共有するJAづくりと、  
人・農業・自然が共生できる地域社会づくりをめざします』

- 経済の国際化にともなう環境変化や農業をとりまく環境の変化、さらに高齢化社会の到来など、将来に対する不安が募り不安定な状況が続いています。このような時代にあってJAは、組合員と共に繁栄し、「安心」して「安全」な商品やサービスを「安定」的に利用していただくための経営努力を続けてまいります。
- 農業は、大地、水、空気、太陽など自然の恩恵を受けて成り立つ産業です。新鮮で安全な農産物の供給、人とのふれあいを大切に、人間関係を深め地域社会への貢献を通じて、人・農業・自然が共生できる地域社会づくりに取り組んでいきます。

## 2. メインテーマ

『「安心」「笑顔」の種を蒔き、  
未来へ「つながる」実をつくろう』

## 3. 基本方針

- I 『安心して続けられる農業の実現』（地域営農振興計画）
- II 『笑顔あふれる地域づくり』
- III 『次代へつながる経営改革の実践』

## 4. 職員行動規範

『感謝・挑戦・自律』

常に感謝の念を持ち、何事にもチャレンジの姿勢を忘れず、  
自ら考え責任ある行動をします。



## 2. 経営方針

### ●基本方針（令和5年度）

人口減少や低金利政策の長期化、新型コロナウイルスの感染拡大等により、社会・経済環境が大きく変化するなど、JAを取り巻く環境は厳しさを増し、大きく変化しています。

少子高齢化による人口減少が進む中、当JAの組合員構成については、70歳以上の組合員が45%を占める状況となっています。若年層の組合員加入を勧めるため、組合員出産祝金制度を創設し、この制度による新規組合員は161人が加入し、全国的に組合員数が減少する中、全体で509人の組合員の増加を図ることができました。

国内経済に目を移すと、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いています。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰等を受け、物価の上昇が続いていますが、農畜産物への価格転嫁はできていない状況です。

一方、肥料などの資材価格の高騰や、コロナ禍による外食需要の低迷による米価の落ち込みなどにより、農業を取り巻く環境は一層厳しさを増す中、令和5年10月からのインボイス制度の開始に向け、その対応が急がれます。

新型コロナウイルス感染症は、2類相当から5類へと変更になりましたが、引き続き感染対策に十分注意を払う必要があります。

一方、JAグループでは、平成26年より「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組んでまいりました。当JAにおいても、利用者懇談会、青壮年部や女性会役員と常勤役員との対話をはじめ、常勤役員が経済センター長やふぁ～みんSHOP店長とペアを組んで、担い手農家を個別に訪問して直接意見や要望をお聞きするなど、組合員との対話を通じて、自己改革に取り組んでまいりました。

そのような中、農林水産省は、令和4年1月に農協に対する総合的な監督指針を改正し、組合員との対話を通じて引き続きJAにおいて自己改革が実践されるよう、農林水産省（都道府県）が指導・監督等を行う仕組み（いわゆる自己改革実践サイクル）を構築することとされました。

JA兵庫南では、上記を踏まえ従来より、農業者の所得増大や経営基盤の強化に組合員との対話を行いながら、取り組みを進めてまいりました。今後とも多様な組合員の声をJA運営に反映し、地域農業の振興に努めるとともに、将来にわたって持続可能な経営基盤を確立・強化し、地域に根ざしたJAをめざします。そして、チャレンジ精神をもってJA兵庫南のキーワード「自分とJAの未来を切り拓こう」を念頭に、全役職員が一丸となって取り組んでまいります。

## ●営農経済事業方針●

第9次地域営農振興計画「安心して続けられる農業の実現」を基本方針とし、農業者の所得増大と農業生産の拡大を図るとともに、環境・人にやさしい農業の推進を行います。

重点品目を中心とした農産物の安定的な生産に向けた提案を行い、ふぁ～みんSHOPを中心とした販売力の強化により地域農業の活性化に取り組みます。

安全・安心な食の提供のため、生産履歴記帳の徹底と残留農薬検査の実施による安全性の確保を行うとともに、営農指導体制の強化に向け、営農渉外のスキルアップに取り組みます。

穀類の生育調査や病害虫発生予察を活用した適期作業の徹底を図るための情報を適時に発信するとともに、栽培講習会等を活用した栽培管理の指導を行い、反収の増加と品質の向上をめざします。また、JA全農営農管理システム（Z-GIS）を営農組織・大規模農家等に対して推進し、作業の効率化に努めます。

地域ブランドであるスイートモーニング(スイートコーン)、いなみ野メロン、清水いちご、志方いちじくを始めとした農産物の販路開拓や有利販売の強化を図るとともに、直売所及びECサイト「あおぞらふぁ～みん」を活用した販売促進を行います。また、新規作物のブランド化に取り組みます。

引き続き経済事業の収支改善に向けて、穀類施設・水稻育苗施設の有効利用や事務の効率化を進めるとともに、関係機関と連携して購買・販売システムの運用改善に取り組みます。

## ●農業経営事業方針●

新規就農者育成ハウスを活用し、新規就農者や新たに施設園芸に取り組む生産者を育成します。体験農場では、景観作物等の栽培を行い、にじいろふぁ～みんの集客数向上に努めます。にじいろ果樹園では、ブドウ等を生産し、直売所への出荷やにじいろカフェと連携した加工品の販売を行い集客に努めます。また、果樹園を活用した栽培講習会を開催し、直売所に不足している果樹類の出荷の拡大を図ります。

## ●福祉・介護事業方針●

高齢化が進む中、組合員の皆様が住み慣れた地域の中で安心して生涯を過ごしていただけるよう、福祉・介護事業の充実に取り組むとともに、安心・安全で適切なサービスを継続して提供するために、徹底した感染症対策を行い福祉事業の収支改善に取り組みます。また、自立支援型介護を推進し、コロナ禍で機能低下した利用者の機能回復に努めます。

管内での福祉事業の継続的な発展を図るため、JA福祉事業と社会福祉法人稲穂会の事業統合に向け協議を進めます。

## ●生活指導事業方針●

第9次中期経営計画の2つめの基本方針である「笑顔あふれる地域づくり」を実現していくため、学校・教育現場との連携を強化し、地域農業の役割を伝える食農教育活動の充実に努めます。また、農畜産物の情報や地域話題をはじめ、JA事業の情報を提供することで、地域農業の応援団づくりと地域の活性化に積極的に取り組みます。

## ●有線放送事業方針●

JA・稲美町・自治会などの地域に根ざした地元色豊かな情報のほか、特殊詐欺への注意喚起など、組合員・利用者の皆様の生命や財産を守るための情報発信に努めます。また、JAや稲美町主催の行事の紹介等、加入者の皆様の身近な番組を制作します。

## ●信用事業方針●

持続可能な収益性と将来にわたる健全性の確保に向け、早期警戒制度<sup>\*</sup>に対応した取り組みを実施します。組合員・利用者からの相談に寄り添い、『安心と満足』『顧客本位の業務運営』『JAの総合的な事業展開』に貢献できる金融共済渉外育成を通じたワンストップサービスを実現し、事業基盤の強化とシェア拡大に取り組みます。また、事務堅確化に向けた教育・研修体制の確立に取り組みます。

※早期警戒制度とは、収益性・信用リスク・市場リスク・流動性リスクの4つの視点から、各々設定された基準に該当した金融機関に対し、監督官庁が早い段階で是正措置を求める制度

## ●共済事業方針●

共済事業の原点である「相互扶助」を大切に、組合員・利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「安全」をお届けします。

「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供および組合員・利用者の利便性向上の普及活動を通じて、より豊かで安心して暮らせる地域社会づくりに貢献し、シェア拡大に取り組みます。

また、コンプライアンスに対する教育・研修を充実させ顧客本位の業務運営に取り組みます。



### 3. 事業活動トピックス

#### 4月

- ・ 新入職員入組式
- ・ にじいろふぁ～みんで「いなみトマト祭り」開催
- ・ 令和5年度JA兵庫南青壮年部通常総会を開催
- ・ JA兵庫南スタートダッシュ大会を開催
- ・ 第25回JA兵庫南女性会総会を開催



新入職員入組式

#### 5月

- ・ 新総代就任
- ・ JA兵庫南涉外決起大会を開催
- ・ 「JA兵庫南組合長杯」小学生ソフトボール大会



スタートダッシュ大会

#### 6月

- ・ にじいろふぁ～みんで城崎麦わら細工展開催
- ・ ちゃぐりんスクール開校式
- ・ 地区別総代懇談会を開催
- ・ スイートモーニング・いなみ野メロン販売開始
- ・ JAカーパレットで自動車展示会を開催
- ・ 第24回通常総代会（コスモホール）
- ・ 「JA兵庫南ふぁ～みん杯」稲美町ジュニアソフトボール大会
- ・ 夏の農機大展示会を開催



スイートモーニング  
販売開始



通常総代会



利用者懇談会

#### 7月

- ・ 第1回JA利用者懇談会
- ・ 介護職員養成初任者研修開講式
- ・ 二見支店で「町ぐるみ健診」開催
- ・ 直売課が営農総合支援センターに移転
- ・ 職員向けの共済仕組み勉強会開催
- ・ 役員による担い手訪問
- ・ いなみ朝市36周年大売出し



担い手訪問



ちゃぐりんスクール  
和牛ツアー

#### 8月

- ・ 女性会米田支部でヨガ教室スタート
- ・ ちゃぐりんスクールで加古川和牛ツアー開催
- ・ 特産品「志方いちじく」が初出荷
- ・ 「JA兵庫南子供サッカー教室」  
チェント・クオーレ・ハリマ



SUGOJYO盆踊り大会

#### 9月

- ・ 新日計システム稼働
- ・ 「JA兵庫南組合長杯」高砂市スポーツ少年団軟式野球大会
- ・ JA女性会SUGOJYO盆踊り大会
- ・ ふぁ～みんレディースカレッジ開講式
- ・ ふぁ～みん男ディカレッジ開講式



男ディカレッジ開講式



レディースカレッジ開講式

JA兵庫南は『「安心」「笑顔」の種を蒔き、未来へ「つながる」実をつくろう』をメインテーマとする第9次中期経営計画に取り組んでいます。  
令和5年度上半期の主な取り組み状況を紹介します。

## I 安心して続けられる農業の実現（地域営農振興計画）

### 販売力の強化

#### 【農産物の安定的な販売】

- ・地産地消の振興に向けた学校給食への直売米販売に取り組みました。
- ・スイートモーニングは「にじいろふぁ～みん」を中心とした直売所の販売促進とECサイトや支店前及び各イベントへ出店し店外販売強化にも努めました。

#### 【新たな販売へのチャレンジ】

- ・契約栽培のスイートコーン・キャベツについて、新たに2件の販売取引先を獲得しました。

#### 【魅力のある直売所運営】

- ・運営協議会との連携や特産品を中心とした品揃えの充実に取り組み、9月末実績で農家出品販売高 9億2,712万円（目標対比：52.6%）来店客数 71.1万名（目標対比：49.7%）



### 生産力の強化

#### 【重点品目を中心とした農産物の安定的な生産】

- ・米の集荷数量を確保するため、全農の仮渡金決定後に上乗せした単価設定を行い、生産者へはJAへの出荷依頼文の発信を行いました。
- ・軟弱野菜を中心とした兵庫県認証食品の出荷拡大を図るため、令和6年度に大型冷蔵庫の設置に向け、行政へ令和6年度 県補助事業の要望調査書を提出しました。



#### 【みどりの食料システム戦略に沿った化学肥料削減への取り組み】

- ・稲美地区の3営農組合において、有機栽培米（除草剤を使用しない水稻の雑草対策等の実証圃）への取り組み試験を実施しました。

#### 【獣害対策の推進】

- ・獣害防止対策支援事業については、137万円（60件）の支援を行い、電気柵等の資材供給高は293万円と年間目標200万円を大幅に上回る結果となりました。

### 組合員の高齢化、労働力不足に対する取り組み

#### 【次世代技術の導入やスマート農業の推進】

- ・JA兵庫スマート農業推進研究会の試験研究として、リモコン式草刈機の現場実証、データ分析の委託契約を締結しました。
- ・2タイプのリモコン草刈機をふぁ～みんサポートに試験導入しました。

#### 【労働力や後継者が不足する地域農家と地域の人材とのマッチング】

- ・広報誌ふぁ～みんで援農ボランティアの募集記事の掲載など活動のPRを行い、30名が登録されました。

### 次世代の農業者に対する取り組み

#### 【新規就農者が継続営農するための支援】

- ・県補助事業を活用した就農者支援や新規ハウス建設資金の助成に取り組みました。

### 安全・安心な食の提供

#### 【農産物の安全性確保】

- ・残留農薬検査の実施状況は、12検体772成分の検査を実施し、自主検査は全て適正值でした。
- ・HACCP研修会を受講し、適切な商品管理と衛生管理に向けた職員の育成に努めました。

### 営農指導体制の確立・強化

#### 【営農指導の増進】

- ・農繁期などは営農経済センターでの業務を通じて組合員指導に努め、農家への生産性の向上に向け、出向く体制づくりを進めています。
- ・TACシステムを活用し、購買・作付・栽培・販売・経営に区分し、指導・提案を行いました。



## Ⅱ 笑顔あふれる地域づくり

### 次世代・若年層の組合員との関係強化

#### 【食農教育活動の充実】

- ・ふぁ～みん食農教育支援金活動へ69団体（うち新規10団体）の申し込みがありました。

#### 【次世代組合員確保のための取り組み】

- ・住宅ローンの利用と組合員出産祝金のPRにより、若年層の組合員加入を勧めることが出来ました。（出産祝金申請者 113名、うち新規組合員 46名）



### 組合員組織活動の活性化と連携強化

#### 【准組合員の意思反映・運営参画への取り組み】

- ・准組合員の利用者懇談会を引き続き開催し、JAの事業の理解と利用促進に取り組んでいます。

#### 【支店ふれあい活動の充実】

- ・16の支店事業所で35件の活動が実施されました。



### 安心・安全で暮らしやすい地域社会の実現

#### 【地域見守り活動の強化】

- ・日頃の渉外活動を通じ、組合員・地域住民の高齢者見守り活動を恒常的に行いました。

## Ⅲ 次代へつながる経営改革の実践

### 営農経済事業の収支改善

#### 【収支改善の取り組み】

- ・重点施策実践チームとして、①営農指導強化チーム、②直売所活性化チーム、③業務環境改善チームの3チームを設置し、専属損益を改善するため、事業目標の達成に向けた取り組みと、費用を必要最小限に抑えた取り組みを行い、共通管理費配賦前専属損益は△1千2百万円となり、前年同期と比べ4千8百万円の改善となりました。

要因としては、事業管理費6千8百万円の改善となり、施設等の修繕費の見直しや要員減による人件費の圧縮等が考えられます。また、事業費用も2千万円改善し、令和3年度から営農経済部全体で取り組んできた収支改善の意識で費用の圧縮に繋がりました。

### 環境の変化に対応できる人づくり

#### 【女性の活躍促進】

- ・6月の総代会において総代選挙規程を改正し、総代定数を見直しするとともに、女性総代の最少人数を増やし、関連要領についても理事会にて承認をいただきました。
- ・9月末での新規加入組合員1,626名に対し、女性組合員は947名（58.2%）の加入となりました。

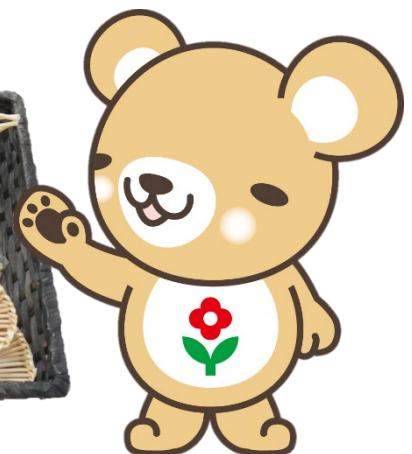
### ご案内

イベント、商品紹介、事業等については、

当JAの広報誌「ふぁ～みん」や

ホームページでもご案内しています。

ホームページアドレス <http://www.ja-hyogominami.com/>



## 4. 農業振興活動

JA兵庫南は、「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」を達成するため地域農業の振興を図るとともに、農業を通じた豊かな地域社会の発展をめざして、次のような農業振興活動に取り組んでいます。

### 1. 安全・安心な農産物づくりへの取り組み

消費者に安全・安心な農産物を提供するため、JAで荷受する米・麦・大豆・野菜などの全出荷者に生産日誌記帳ノート等を提出していただき、農薬使用における適正使用の徹底を図っています。



六条大麦 収穫

### 2. 集落営農組織の育成・支援

米・麦・大豆を作付けする営農組合等の担い手への農業所得確保に向け、栽培指導の強化に努めています。また、スマート農業の研究や実践といった取り組みをしています。



ザルピオフィールドマネージャー（A1）を活用した可変施肥の試験

### 3. 地産地消の取り組み

管内に8店舗の農産物直売所（ふぁ～みんSHOP）を設置し、新鮮で安全・安心な地元農産物を供給し、地域の消費者に喜んでいただける店舗づくりをめざしています。

農家の生産力を向上させて直売所への出荷量を増やすための講習会や、新規農家の育成や施設園芸の面積拡大をめざして、補助事業の活用やハウス導入経費の一部をJAが助成する取り組みをしています。



にじいろふぁ～みん「いなみトマト祭り」

### 4. 農業とのふれあい活動

「農業を基軸とした地域協同組合の実現」をメインテーマに、児童を対象に農業体験を開催し農業への理解を深めました。また、「ふぁ～みん食農教育支援金」により各種団体の食農活動を支援しています。



ちゃぐりんスクール さつまいも苗植え付け体験

### 5. 食育の取り組み

ちゃぐりんスクールの開催並びに、水稻や野菜の植付・収穫体験イベント・料理教室などを各地で開催することにより消費者とのふれあい活動を実施し、農業の理解を深め広げる活動に取り組んでいます。



支店ふれあいイベント 田植え体験

## 5. 地域貢献情報

JA兵庫南は、協同組合活動の原点である「組合員の営農と暮らし」を守り、地域農業の振興に努めるとともに、地域社会の発展に貢献するため様々な活動を展開しています。

### 1. 社会貢献活動

#### ① 環境問題への取り組み状況

- ・省エネルギーを実践するため、「クールビズ」の実施に取り組んでいます。
- ・農業用廃プラスチック・不要農薬の回収を実施しています。

#### ② 各種募金活動・公益団体などへの寄付を行っています。

#### ③ 献血活動の実施



献血（日本赤十字社と連携）



募金活動



クールビズ



### 2. 地域貢献活動

#### (1) 地域からの資金調達の状況

##### ① 貯金残高（令和5年9月末現在）

（単位：百万円）

種類	残高
当座性	240,064
定期性	451,518
<b>小計</b>	<b>691,583</b>
譲渡性	—
<b>合計</b>	<b>691,583</b>

#### (2) 地域への資金供給の状況

##### ① 貸出金残高（令和5年9月末現在）

（単位：百万円）

種類	残高
農業近代化資金	0
その他制度資金	6
農業関連融資	453
事業関連融資	8,310
住宅関連融資	168,149
生活関連融資	3,916
その他	246
<b>合計</b>	<b>181,083</b>

#### (3) 文化的・社会的貢献に関する事項

##### ① 福祉活動

組合員・地域住民を対象とした健康診断活動、高齢者福祉活動、地域助け合い活動に取り組んでいます。

##### ② 職員の地域貢献への参加

道路の清掃活動などの社会活動に積極的に参加し、地域に根ざした活動を実践しています。



清掃活動



町ぐるみ健診



地元サッカークラブへ  
ボール寄贈



### 3. 地域密着型金融への取り組み

(中小企業等の経営の改善及び地域の活性化のための取り組み状況を含む)

#### (1) 農業者等の経営支援に関する取り組み

当JAは、「組合員と共に繁栄し、安心・安全・安定を共有するJAづくりと、人・農業・自然が共生できる地域社会づくりをめざします」という経営理念のもと、農業者をはじめ地域の皆様に利用される総合事業体として営農・経済事業や金融機能のみならず、環境・文化・福祉といった面も視野に入れた事業・活動を行っています。

なかでも、農業者等の経営支援を重点取り組み事項の1つとして位置づけ、農業技術・生産性向上に向けた各種研修会を開催するほか、契約栽培の拡大や直売所での農産物販売拡大、また地元量販店への出荷拡大等に取り組んでいます。

#### (2) 農業者等の経営支援に関する態勢整備

各営農経済センターに営農渉外係を配置するとともに、関係機関と連携し、農業者の農業技術・生産性向上に向けた相談・指導に応じています。

また、支店の融資担当者も農業や農業関連融資に関する知識を深め、農業者からの幅広い相談に応じることができるよう、日々研鑽しています。

#### (3) 農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援

農業者の多様なニーズに 대응していくため、農業融資担当部門と営農経済部門とが連携し農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施するとともに、各種プロパー農業資金に対応し、また農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて農業者の農業経営と生活をサポートしています。

#### (4) 担い手の経営のライフステージに応じた支援

農業後継者として新規就農者を対象に「かがわ育農塾」を開催しています。また、卒業後の農業経営と生活をサポートしています。

#### (5) 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ担い手に適した資金供給手法の取り組み

農業融資については、営農経済部門と連携し、取引実績や青色申告書等を活用した経営分析を通じて、農業者に適した資金提案を行っています。また、営農に必要な営農ローン、加工・流通・販売に関する設備・運転資金としてアグリマイティー資金があります。

#### (6) 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域への貢献

「地域密着型支店づくり」による支店運営、農産物直売所の運営等を通じ、組合員、地域住民、消費者等のニーズを把握し、より身近な事業運営を行っています。

次代を担う地域の小学生等に対しては、農業への理解を促進するため、ちゃぐりんスクールをはじめ、ふぁ～みん食農支援金制度を通じた食農教育活動に取り組んでいます。

また、女性を対象とした「ふぁ～みんレディースカレッジ」、男性を対象とした「ふぁ～みん男ディカレッジ」を開講し、新しい学びと仲間づくりの場として、カルチャー教室を開催しています。

#### (7) 「経営者保証に関するガイドライン」への対応方針

経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会及び日本商工会議所が事務局）が公表した「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、当JAは、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢整備を実施致しました。

当JAは、今後、お客さまと保証契約を締結する場合、また、保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めてまいります。

## 6. 事業の概況

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による社会活動の制限は緩和となりましたが、円安などに伴う国内物価の上昇が、私たちの生活に大きな影響を与えています。

また、ウクライナ情勢を背景とした国際間の緊張や電力・エネルギー価格をはじめとする物価の高騰など、未だ景気の先行きは不透明な状況が続いています。

こうした情勢のなか、組合員・利用者のくらしにとって「なくてはならないJA」であり続けるため、これまでの自己改革の取り組みを強化するとともに、第9次中期経営計画で掲げた基本方針の取り組みをスタートしました。

その結果、令和5年9月末日現在の税引前当期剰余金は11億45百万円となり、前年同期比64百万円の増加となりました。

信用事業では、持続可能な収益性と将来にわたる健全性の確保に向け、早期警戒制度に対応した取り組みを強化しました。また、組合員・利用者からの相談に寄り添い、「安心と満足」「顧客本位の業務運営」「JAの総合的な事業展開」に対応できる職員を育成し、事業基盤強化とシェア拡大に努めました。この結果、貯金は6,915億83百万円となり、期首より82億88百万円の増加となりました。また、貸出金は1,810億83百万円となり、期首より22億85百万円の増加となりました。

共済事業では、共済事業の原点である「相互扶助」を大切に、組合員・利用者の信頼と期待に応えるため、組合員ニーズに対応した保障の提案と新たな接点づくりによる普及活動を展開し、豊かで安心して暮らせる地域社会づくりに努めました。この結果、長期共済保有高は8,098億円で、組合員のニーズが死亡保障から生存保障に移行していること等により、期首から177億円の減少となりました。

購買事業では、営農指導を基軸とした生産購買の展開と、組合員ニーズに合った購買品の提供に取り組みました。また、肥料価格高騰対策事業の申請事務など、農業経営の支援に努めました。この結果、購買品供給高は4億98百万円、購買品取扱高（代理人取引）に係る購買手数料は12百万円となりました。

販売事業では、変化し続ける消費者ニーズに対応するため、旬の農産物を提供するイベントを開催し、安心・安全な農産物の消費拡大に取り組みました。また、LINEやInstagramを活用し、直売所で販売する農産物やおすすめレシピ、キャンペーン情報などを積極的に発信し、消費者との新たな交流の場として「食と農」の理解促進に努めました。この結果、受託販売品販売高は16億64百万円で、米麦及び農家出品物の増加等により、前年比1億47百万円の増加となり、受託販売に係る販売手数料が1億40百万円で、4百万円の増加となりました。

福祉・介護事業では、組合員の皆さまが住み慣れた地域で安心して過ごしていただけるよう、感染症対策を徹底し、利用者寄り添った安心・安全で適切なサービスの提供に努めました。

地域貢献活動では、地域に密着したJAとして、支店ふれあい委員会を中心とした地域清掃活動や、ふれあいイベントを実施し、地域の皆様から好評を得ています。

また、「ふぁ～みんな食農教育支援金制度」では、食農活動の輪を広げるとともに地産地消の啓発活動を展開しています。

JA兵庫南の経営理念である「組合員と共に繁栄し、安心・安全・安定を共有するJAづくりと、人・農業・自然が共生できる地域社会づくり」をめざして、全役職員が一致団結して協同の力を結集し、より健全な職場風土を築くと共に新たな目標をめざして、今後も新たな取り組みを展開していきます。



## (1) 事業実績の推移

### 預金

(単位：百万円)

種 類		令和5年9月末	令和5年3月末	令和4年9月末
系 統 預 金	当座預金	—	—	—
	普通預金	343	246	1,012
	通知預金	3,600	—	4,400
	別段預金	603	603	603
	定期預金	490,350	485,850	486,350
	小計	494,897	486,699	492,365
系 統 外 預 金		112	174	136
合 計		495,009	486,874	492,502

### 有価証券

(単位：百万円)

種 類		令和5年9月末	令和5年3月末	令和4年9月末
国	債	1,660	1,770	1,757
地	方 債	4,131	4,370	4,353
政	府 保 証 債	544	975	978
特	殊 法 人 債	1,733	1,713	1,620
社	債	3,013	2,235	1,583
合 計		11,083	11,064	10,292

### 貸出金

(単位：百万円)

種 類		令和5年9月末	令和5年3月末	令和4年9月末
手	形 貸 付 金	124	126	126
証	書 貸 付 金	180,079	177,793	176,758
当	座 貸 越	479	478	1,158
金	融 機 関 貸 付	400	400	800
合 計		181,083	178,798	178,844
(うち金融再生法債権)		(442)	(448)	(465)

### 貯金

(単位：百万円)

種 類		令和5年9月末	令和5年3月末	令和4年9月末
当 座 性	当座貯金	622	638	650
	普通貯金	238,262	237,502	230,367
	貯蓄貯金	1,132	1,026	1,059
	通知貯金	—	—	—
	別段貯金	46	461	78
	小計	240,064	239,629	232,156
定 期 性	定期貯金	437,228	427,774	436,121
	定期積金	14,290	15,891	17,151
	小計	451,518	443,665	453,272
合 計		691,583	683,294	685,428

## 借入金

(単位：百万円)

種 類	令和5年9月末	令和5年3月末	令和4年9月末
手形借入金	—	—	—
証書借入金	—	—	—
当座借越	—	—	—
制度借入金	5	10	10
<b>合 計</b>	<b>5</b>	<b>10</b>	<b>10</b>

## 長期・年金共済契約高・保有契約高

(単位：百万円)

種 類	令和5年9月末		令和5年3月末		令和4年9月末		
	新契約高	保有高	新契約高	保有高	新契約高	保有高	
生命総合共済	終身共済	3,475	318,830	10,628	326,640	5,521	333,610
	定期生命共済	467	4,159	1,025	3,915	458	3,448
	養老生命共済	588	50,641	1,504	55,468	865	57,754
	うちこども共済	(495)	(25,352)	(1,380)	(25,741)	(760)	(26,062)
	医療共済	78	8,053	244	8,684	103	9,427
	がん共済	—	489	—	497	—	505
	定期医療共済	—	1,176	—	1,219	—	1,262
	介護共済	470	15,248	1,108	14,924	522	14,534
	年金共済	—	658	—	715	—	771
建物更生共済	11,593	410,546	30,175	415,538	18,408	418,603	
<b>合 計</b>	<b>16,673</b>	<b>809,804</b>	<b>44,687</b>	<b>827,603</b>	<b>25,879</b>	<b>839,918</b>	

(注)「種類」欄は主たる共済種類ごとに記載し、金額は当該共済種類ごとに保障金額(生命系共済は死亡保障の金額(付加された定期特約金額等を含む))を記載しています。

## 医療系共済の入院共済金額保有高

(単位：百万円)

種 類	令和5年9月末		令和5年3月末		令和4年9月末		
	新契約高	保有高	新契約高	保有高	新契約高	保有高	
医療共済	入院共済金額	0	65	0	71	0	77
	治療共済金額	127	1,024	347	866	207	696
がん共済	0	33	1	33	1	33	
定期医療共済	—	2	—	2	—	3	
<b>合 計</b>	<b>127</b>	<b>1,127</b>	<b>348</b>	<b>975</b>	<b>1</b>	<b>114</b>	

(注)「種類」欄は主たる共済種類ごとに記載し、金額は当該共済種類ごとに共済金額を記載しています。  
 なお、同一の共済種類に主たる共済金額が複数ある場合は、新たに欄を追加して記載するとともに、共済種類ごとの合計欄を記載しています。

## 介護共済・認知症共済・生活障害共済・特定重度疾病共済の介護共済金額保有高

(単位：百万円)

種 類	令和5年9月末		令和5年3月末		令和4年9月末	
	新契約高	保有高	新契約高	保有高	新契約高	保有高
介 護 共 済	522	18,103	1,236	17,757	603	17,435
認 知 症 共 済	188	1,145	999	988	735	730
生 活 障 害 共 済 (一時金型)	1,572	17,167	4,008	16,069	2,018	14,540
生 活 障 害 共 済 (定期年金型)	26	627	72	620	47	614
特定重度疾病共済	187	3,066	1,035	3,056	718	2,887

(注)「種類」欄は主たる共済種類ごとに記載し、金額は当該共済種類ごとに共済金額を記載しています。

## 年金共済の年金保有高

(単位：百万円)

種 類	令和5年9月末		令和5年3月末		令和4年9月末	
	新契約高	保有高	新契約高	保有高	新契約高	保有高
年 金 開 始 前	474	11,114	750	10,881	385	10,766
年 金 開 始 後	—	2,966	—	2,948	—	2,920
合 計	474	14,080	750	13,830	385	13,687

(注)金額は、年金年額を記載しています。

## 短期共済新契約高

(単位：百万円)

種 類	令和5年9月末		令和5年3月末		令和4年9月末	
	金額	掛金	金額	掛金	金額	掛金
火 災 共 済	22,518	19	51,046	44	23,466	20
自 動 車 共 済		429		907		440
傷 害 共 済	10,585	3	18,367	14	9,350	4
団体定期生命共済	—	—	—	—	—	—
定額定期生命共済	8	0	12	0	8	0
賠 償 責 任 共 済		0		0		0
自 賠 責 共 済		40		92		44
合 計		494		1,059		509

(注)「種類」欄は主たる共済種類ごとに記載し、金額は当該共済種類ごとに保障金額(死亡保障又は火災保障を伴わない共済の金額欄は斜線。)を記載しています。

## 購買品供給・取扱高

(単位：百万円)

種 類	令和5年9月末	令和5年3月末	令和4年9月末
購 買 品 供 給 高	498	973	549
購 買 品 取 扱 高	153	303	156
合 計	652	1,276	706

## 販売品販売高

(単位：百万円)

種 類		令和5年9月末	令和5年3月末	令和4年9月末
受託販売	米 麦	381	777	273
	青 果	142	332	157
	畜 産	233	462	201
	ふぁ～みん SHOP	906	1,736	883
	合 計	1,664	3,309	1,516
買取販売	ふぁ～みんSHOP直売米	165	280	140
	ふぁ～みんSHOP(その他)	198	360	187
	合 計	363	640	327

## (2) 有価証券の時価情報

(単位：百万円)

保有区分	令和5年9月末			令和5年3月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
その他	12,383	11,083	△1,299	11,783	11,064	△718
合 計	12,383	11,083	△1,299	11,783	11,064	△718

- (注) 1. 時価は市場価格等によっています。  
 2. 取得価額は、取得原価又は償却原価によっています。  
 3. 満期保有目的の債券については、取得価額を貸借対照表価額として計上しています。  
 4. その他有価証券については時価を貸借対照表価額としています。

## (3) 金銭の信託の時価情報

該当する項目はありません。

## (4) 預かり資産の状況

### ①投資信託残高（ファンドラップ含む）

(単位：百万円)

項 目	令和5年9月末	令和5年3月末
投資信託残高 (ファンドラップ含む)	1,753	1,198

(注) 投資信託残高（ファンドラップ含む）は「約定日基準」に基づく算出です。

### ②残高有り投資信託口座数

(単位：口座)

項 目	令和5年9月末	令和5年3月末
残高有り投資信託口座数	2,154	1,436

## (5) 自己資本比率（単体）

令和5年9月末	令和5年3月末
13.53%	13.19%

## 7. 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

(単位：百万円)

債権区分		債権額	保全額			
			担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和5年9月末	435	115	5	315	435
	令和5年3月末	444	115	5	323	444
危険債権	令和5年9月末	6	—	6	—	6
	令和5年3月末	3	—	3	—	3
要管理債権	令和5年9月末	—	—	—	—	—
	令和5年3月末	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権	令和5年9月末	—	—	—	—	—
	令和5年3月末	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	令和5年9月末	—	—	—	—	—
	令和5年3月末	—	—	—	—	—
小計	令和5年9月末	442	115	11	315	442
	令和5年3月末	448	115	9	323	448
正常債権	令和5年9月末	180,712				
	令和5年3月末	178,420				
合計	令和5年9月末	181,154				
	令和5年3月末	178,868				

(注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

2. 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

3. 要管理債権

4. 「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と5. 「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。

4. 三月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。

5. 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

6. 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。





2023（上半期）ディスクロージャー／JA 兵庫南  
令和5年12月発行  
兵庫南農業協同組合  
発行責任者 代表理事組合長 中村 良祐  
〒675-0066 兵庫県加古川市加古川町寺家町 621 番地  
TEL 079-424-8001（代）  
FAX 079-424-1134  
<http://www.ja-hyogominami.com/>

「安心」「笑顔」の種を蒔き、  
未来へ「つながる」実をつくらう

Farming Power Up Plan 2023~2025